

第 1 学年竹組 算数科略案

指導者 齋藤 由紀子

1. 日 時 7 月 3 日 (火) 2 校時 (9 : 20 ~ 10 : 05)
2. 単元名 のこりは いくつ ちがいは いくつ (10 / 11)
3. ねらい ○問題作りによる式の読みを通して、減法の意味を深める。
4. 本時の実際

時間	学習活動と児童の動き	教師の支援及び評価	センターの先生の支援	備考
9:20	1. 教科書 48 ページの絵を見て、どんな場面か話し合う。	・話し合いから、引き算に関係ある場面や数を把握する。	・教室の前で児童を観察。	
9:27	2. $7 - 2$ の式になる問題の作り方を確認する。	・7 のもの、2 のものは何か確かめる。 ・大事な言葉 (のこりは・ちがいは等) を提示し確認する。	・求残・求補・求差それぞれのパターンによる問題を説明する。	
9:35	3. $7 - 2$ の式になる問題を作る。	・文ができない児童には穴埋めプリントを用意する。 ・一つ問題を作り上げた子どもには、別のパターンでもう一つ作るよう助言する。		
9:50	4. 作った問題を発表する。	・問題作りに生かされた絵を提示する。	・児童の作った問題を評価する。	
10:00	5. 学習を振り返る。	☆ひき算の式になる問題文を作ることができる。(ノート・観察)	・生活の中には、ひき算で考えられること、できるところがたくさんあることを伝える。 ・生活の中にも、ひき算の場面を伝える。 ・生活の中にも、ひき算の場面を伝える。	